

前略

立秋の過ぎぎやうに、残暑が厳しい日々が続いております。

さて、この度は、藤井隆広先生に胃と大腸の内視鏡検査をして頂き、大腸のポリープが発見され、切除して頂きました。

病理検査の結果、高分化腺癌（M癌）でした。

癌と聞き、びっくり致しました。事前にも先生の心配慮で、

「転移の心配は全くない癌だから大丈夫です。」とお電話を

頂いておりました。やはり癌と記入されてはショックでした。

しかし、次の瞬間、このタイミングで、

藤井先生に切除して頂き、本当に良かった。



と安堵致しました。

長期間すううと内視鏡検査とするのが嫌で逃げていました。でも今回だけは、頑張って頂いた方が良いためと心の声おりましたのです。

そして、藤井先生に出逢わせて頂き、痛くも苦しくもない。全く不快を感じることの無い内視鏡検査として頂きました。

又、早くこの確かな診断で切除して頂き、術後も痛くなく、

「少〜チクチクします。」と申し上げたら、即時に先生から

「心配はないから」とお電話を頂き、至れり尽くせりのお心遣いを感じ、感謝の気持ち一杯に頂戴しました。

藤井先生この度は本当に有り難うございました。



あのまま放置していたらと思うとゾォーと致します。

大事に云わず心から感謝申し上げます。

父が二十年前に直腸に進行癌がみつかり、南腹手術（人工肛門）となり、七ヵ月程で他界致しました。

ずつと例い世話してた私は若しかたです。活火山のようになぜ増えし、癌を今でもハッキリ覚えていきます。

それと思うと本当に今回は助けて頂いた！と深謝しか
いけません。早くに検査は受けることだと痛感
致しました。

来年も検査が必要とのご指示ですので



う女心して参りますので、とうぞ宜しくお願ひ申し上げます。
天候不吹の折、ご自愛の程と心よりお祈り
申し上げます。

令和三年 八月二十日

藤井隆広 様

のこ

